

SAKU 未来 100 人会議

第 6 回 NEW アイディアチーム ミーティング【報告】

- 主催：NEW アイディアチーム (SAKU 未来 100 人会議)
- 共催：NPO 法人タウンネット
- 日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土) 14:00~16:30
- 場所：佐久市市民活動サポートセンター (野沢会館ホール)



議事録

1. 挨拶

- 総合司会の挨拶【佐久市市民活動サポートセンター：小林】

2. 今回のミーティングのガイドライン説明

- 今回のミーティングでは過去 5 回の皆さんと話し合ってきた事をイメージしやすいように実際にスタッフがエリアを決めて現場に行き、映像やインタビューをして 1 本のドキュメンタリーを製作しました。



3. 白田視察見学会の報告【試写会】

- 9月16日(土) 視察見学を実施。
- プルーンの出荷時期がベストだったので今回のテーマは「プルーンに関わる人たち」。
- プルーンの生産・加工・飲食の3部門で活躍されている方々のようす思いや情熱を映像にまとめ報告した。
- 試写会を終えて感想
 - ・地元でも知らない事があった。
 - ・今日見た映像はユーチューブやSNSで流さないのか？【許可が必要なので検討】
 - ・隠れた財産が地域にはあるので、もっと広めていくべき。
 - ・プルーンはスーパーで売っているのしか知らない。
 - ・種類が多いことを初めて知った。
 - ・身近に接していることが少ない。
 - ・生で食べる事を知らなかった。
 - ・地元で広める事が必要。
 - ・メジャーなものはTVで知っていたが、もっと発信して佐久に来た人に紹介したい。
 - ・ドレッシングを作っていること自体知らなかった。
 - ・こんなに頑張っている人がいる事に驚いた。
 - ・次回、見学会があったら参加したい。
 - ・林檎・柿・苺などの話しは普段しているが、プルーンの話は出てこない。

- ・生産者は情熱をもってやっているのもったいない。
- ・鮮度を保って出荷するのは難しい。
- ・市販のミキプルーンとはイメージが結びつかない。
- ・臼田でプルーンが作られている事は知らなかった。
- ・経験がないと解らないことが多い。どんどん伝えてもらいたい。
- ・プルーンに関しては家の畑にあったので食べていた。
- ・ドレッシングのレシピが欲しい。
- ・料理教室を開いたりしてもらいたい。
- ・プルーンカレーなどのレシピが欲しい。
- ・若松食堂の近くに住んでいるが知らなかった。
- ・TVで保育園児が採りに行って食べているのを見たが、大人になっても食べてほしい。
- ・長野県を代表する土産になってもらいたい。
- ・鯉にプルーンを食べさせてフルーツフィッシュな鯉として食べたい。
- ・直売店など一時的なものをあちこちに作ってもらいたい。
- ・食品としてプルーン味噌・プルーンマヨネーズが出来たらおもしろい。
- ・青沼に青果場があり軽トラが20~30台集まっている。しかし高齢者がほとんどなのが現状。
- ・小学校の子どもがプルーン農園の手伝いに行っている。料理などについて習っている。
- ・プルーンは好きではないが、今回をきっかけに食べてみる。
- ・産業として、どうにか出来る方法を探していくべき。
- ・農園として農園で売るシステムも良いのではないか。商品開発をしていく。

4. 今後の方向性や意見

- 佐久の魅力を広げていきたい
- 佐久の現状は今どうなっているのか、佐久の魅力を伝え広めたい。
- 青沼地区では人口減少や少子高齢化で地域おこしについて進めている。
- 地域に住んでいる若い人に地元の魅力を伝えたい。
- 頑張っている世代の紹介、仕事をするにも地元の方が入り口は開けている。
- 人口減少を食い止めたい。
- 行政レベルではなく、市民レベルで始まっているので100人会議は小さい事から始めたい。
- これからも残していきたい。
- 佐久鯉などを産業として生かすことが大事。
- 生産者・加工者・販売者の増加が大事。
- 地元の人に関心を持ってもらいたい。
- 宣伝が少ないので情報発信が必要。
- チャンスは自分の目の前にある
- 知らせるというより動かしていくべき。
- 地域で支えていける方法を考えていく。
- 子どもたちに体験させていく。それには自分たちで知っていかななくてはならない。

5. まとめ

今回のNEWアイデアチームミーティングは、5回開催したミーティングでの佐久の良さを佐久で実際に頑張っている方々のお話を聞き、それを映像化することにより、よりリアルに情報提供できることを実感して頂くため、サポートセンターと地域おこし協力隊、NPO法人タウンファンネットのメンバーで収穫時期向かえるブルーンをテーマに「臼田地域のブルーンに関わる人たち」をクローズアップした視察見学会を9月に実施いたしました。

それを第6回のミーティングで試写会として参加者の皆様に見て頂き感想をお聞きする流れをつくりました。試写会後はリアルな情報が見れて良かった様子で、色々な感想や意見を頂くことができました。また、次回の見学会に是非参加してみたいとおっしゃる方も多くおられました。

今後の方向性としては、佐久の色々な地域で色々なお仕事で頑張っていらっしゃる方々を参加メンバーから紹介して頂くことができるようなミーティングにしていきたいと思います。そして、佐久に色々な地域の特色を理解し、それを子どもたちに伝え、引き継いでもらえるよう進めていきたいと考えています。

次回のミーティングでも沢山の方々が参加して、方向性や考え方を理解し、共有できるよう進めていきたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

